

Q スピード感のある安全対策を

A 関係機関と連携して交通安全に努める

※1 通学路交通安全プログラムとは →



とよせ かずひさ
豊瀬 和久議員



室小学校通学路の現状



その他の質問

- ・区画整理事業について
- ・小中学校体育館へのエアコン設置について
- ・健康維持者を増加させる取組について
- ・自転車用ヘルメット購入費用への補助について

道路管理者や、警察、県などの関係機関で合同点検を実施して判明した危険箇所に対して、速度規制などのソフト対策とガードレールなどの整備によるハード対策を組合せた効果的な対策を速やかに実施すべきではないか。

また、保護者やセーフティボランティアの皆さんに点検結果を報告して、安心感を持っていただくとともに、見守り活動に役立てていただきたいと思います。

(教育長)

Q 町民の幸福量が増すような取り組みを

A 住民の幸せ、安全につながるよう進める

たしろ けんき
田代 元気議員



工業団地予定地

その他の質問

- ・運動公園周辺の活性化とアウトレットモール誘致について

今回事業を進める工業団地予定地では農地が広がっている。そんな中、予定地やその周辺で農業を営む人から様々な不安を抱える意見を伺っている。そのような人々に対し、町はどのように対応して行くのか。

また、交通問題についても、小学校が近くにあることもあり、通学路問題、渋滞対策もしっかりと取り組んでいかなければならない。

(町長)

一般質問

町政を問う 6月定例会 一般質問に16名中11名が登壇



町のさまざまな問題・課題について、議員が町に考えを問うのが一般質問です。議員は政策提言も含め、質問することができます。ここでは、質問した議員ごとに一項目を要約してお知らせします。

一般質問のライブ・録画配信を行っています。顔写真横の二次元バーコードからご覧になれます。

※一般質問の記事に関しましては、各自が編集したものを掲載しています。

Q 平川流域を準用河川に指定し防災推進を

A 有利な国庫補助が受けられるよう取り組む

とよまつ ともしろ
時松 智弘議員



水没の危険がある北小学校周辺地域

その他の質問

- ・南海トラフ巨大地震及び阿蘇山大規模噴火災害時の避難者受け入れは。
- ・防災士アドバイザーの活用と地区防災計画の整備、熊本地震の経験の伝承、後世に伝えるための取り組みは。

昨年年度予算で作成した洪水土砂ハザードマップによれば、平川流域の大津北小は3メートル以下の浸水が想定されている。白川流域とは違い、阿蘇地域の雨量により予測がつかめるという特性ではなく、平川は、急激に狭まった地形で大量の雨が降れば、鉄砲水などが突如発生し、避難の時間に猶予がないことが明らかだ。

町長による指定によって準用河川に格上げすることは可能だ。接続する2級河川管理者の県と管理方法や細部打ち合わせを経て、準用河川指定を町として行う。(都市整備部長)

Q 本町での創業支援及び創業後のサポート支援

A 商工会等、意見を伺い使いやすい見直す

にしかわ ひでつぐ
西川 秀貞議員



商工会 活いき商店街事業補助金
(平成16～20)を活用して起業した店舗

その他の質問

・人材開発支援助成金を活用した研修派遣事業を本町のニーズにあった事業、企画に変えるべき

現在本町での創業又は創業を考えている事業所が増えている。しかし、資金面での工面に悩まされている。そこで、町独自の支援が必要である。創業に対する融資金利補給制度の見直し、保証協会に支払う保証料の助成を行い事業所に対する更なる後押しが必要。

大津町中小企業特別小口資金融資制度や大津町中小企業店舗新築・改装工場機材及び駐車場設備融資金利補給制度、中小企業向けの制度など、商工会と連携し、より使いやすいように見直しを図る。景気動向や消費者心理が改善している今がその時期。(町長)

Q 牛乳を守るための物価高騰対策は

A 交付金を活用しながら支援していく

おおむら ゆういちろう
大村 裕一郎議員



その他の質問

・持続的な農業を推進するためのスマート農業の推進について
・Chat GPTの利用について
・農業を教える大学との連携について

酪農家においては、2014年にバター不足が問題になり、その際に国が増産を促すために、クラスター事業という補助金を出し、畜産業の規模拡大を促した。そして、その際に大きく投資を行い、規模拡大を投資し、その成果がやっと出てきたタイミングで、コロナにより生乳需要が冷え込み、今度は供給過多になったことで、生乳の廃棄が行われ、酪農家にしわ寄せが一気に降りかかり、追い打ちをかけるように飼料の高騰が起きている。待ったなしの状況であり、すぐに対策を打たないといけないと考えるが町長の考えを聞こう。

農家に対しての事業者支援を行う。今回は特に酪農畜産家に重点を置いた支援策となっている。また、牛乳や乳製品の消費拡大においても、学校給食を主に町民の皆様にも、広く消費を呼びかけていく必要があると認識をしている。例えば、各種イベントでのPR活動を実施するなどのアイデアを出し合いながら、消費拡大に取り組んでいきたいと考えている。今後、各農業団体による独自の支援にあわせ、国や県による支援にいても継続して強く要望を行い、町としても今回のように交付金も活用しながら支援を行っていく。(町長)

Q 免許証返納時に特典を

A 秋以降の公共交通実証実験に合わせて開始

さんのみや みか
三宮 美香議員



免許証返納時の近隣自治体の特典

市町村	サポート内容
菊陽町	町が設定した条件をクリアした人には運転経歴証明書の交付に係る申請手数料に対する補助金を交付。(補助金の額は1,100円)タクシー利用券30,000円分を1回限り交付。
西原村	75歳以上で車の運転をされない(できない)方、障害手帳、療育手帳をお持ちの方に1枚500円のタクシー券、年間60枚交付。[免許証を返納された方は1回に限り、20枚追加交付。]
合志市	町が設定した条件をクリアした人にはコミュニティバス回数券(自主返納者無料乗車券10枚綴り10セット)を1回限り交付。

その他の質問

・渋滞緩和に向けて
・外国人も住みやすい大津町に
・これからの図書館
・給食費無償化

近隣自治体は免許証返納時にタクシー利用券の交付など特典があるが大津町は無い。以前の質問への回答は入り口だけを制度化しても特典にはならないという回答であった。しかし、入り口を整えることが免許証返納のきっかけにもつながり、ひいては大津町内の交通安全効果があると考え、免許証返納時に特典をつける気持ちは無いが、

5月に実施した地域公共交通会議で新たな検討を始めている。既存バス車両の試験運行を秋以降から実施し、それに合わせて免許証返納者への特典を開始設定する。それにより乗り合いタクシーやバス利用を推進し、公共交通での移動に慣れるような仕掛けを検討している。(町長)

正しい専決処分の在りかたについて 工業団地整備の進め方について

ながた かずひこ
永田 和彦議員



論点

質問の相手はすべて町長です。

正しい専決処分の在りかたについて

年度末3月31日午後指定管理承沢の経緯と不備が有った説明を行い会議を開かず専決処分をすることは議会制民主主義の冒瀆であり乱用である。地方自治法第101条では臨時議会を1日前の告示でも開くことができる。多くの疑問点が指摘された指定管理契約を監査に付していない事実。

工業団地整備の進め方について

南部工業団地は県の企業紹介で開発したがキャンセルされ多くの借金で苦しんだ経緯がある。大津町は県に対して貸しがあり、県は町に対して借りを返すのが筋である。TSMC進出により関連企業進出の用地不足を解消するため県主導工業団地が周りの市町に多く開発される。大津町は町が借金して開発するが理不尽と思える。

※ 録画配信をご覧ください！

地方自治法で定められた専決処分

- 179条 専決処分の要件
① 議会が成立しない等議会の会期を開けない等緊急を要する等の理由を指し示す旨の議会の承認を得た後、議決すべき事件を議決しない
- 専決処分の対象
① 議決事項または副市長の職務は対象外
- 報告義務
市長は次の場合に報告し、承認を求めなければならないが、承認になっても効力は失われない
- 180条 (議会の要件による専決処分)
軽微な事項で議会の議決で特に指定したもの、市長は議院に報告しなければならないが、承認を求めなければならない。

工業団地整備の進め方について

